

県立 茅ヶ崎西浜高等学校 学校教育計画
 (中期計画期間：平成24年度～平成26年度)

課程・学科	全日制・普通科	校長名	神戸 秀巳
-------	---------	-----	-------

1 果たすべき役割

- 職員が明るく元気で、誇りをもって熱く語り、課題解決に向けて「考え続ける」学校づくり。
- 不祥事防止に組織的に全力で取り組み、地域や県民の期待にこたえようと努力する学校づくり。
- 信頼され、社会に貢献できる人物の育成に向けて、積極果敢な教育活動を実践する学校づくり。

2 教育目標

- 基礎学力の充実と向上につとめ、豊かな情操と創造力を養う。
- 常に謙虚に学ぶ態度を身につけ、平和と人権を尊重し、自己の向上にたゆまず努力する人間を育成する。
- 自律的な生活態度を養い、誠実にして実践力をもち、信頼される人物を育成する。
- 気力、体力の充実につとめ、心身の健全な育成を図る。
- 命の大切さや他者への思いやりの精神を身につけさせるとともに、学校独自や市・地域と連携した防災訓練を実施することにより、学校防災力の向上をめざす。

3 特色ある教育

- 基本的な情報の知識を身につけさせる授業を実践し、ネットワーク社会で生活するための基本的な知識、倫理を身につけさせ、情報機器を利用した創造力を高める授業を展開する。
- 規律正しい生活習慣を身につけさせる。服装等のマナーや基本的生活習慣を確立させ、進路に向けて目的意識を持つことができる教育を行うとともに、これまでに築いた支援教育の体制を活用し、将来への希望を抱かせ、実現させる教育を行う。
- 学習の定着を図るため、補習、補講、個別指導等を実施し、授業時間外においても学習の支援から進路の支援へと継続的な指導を行う。

4 現状と課題

- 平成25年度からの新学習指導要領に向けて、基本的な学習の定着を図る授業を展開するよう工夫する。情報、芸術等の授業で生徒が自ら成果物を作り上げる創造力を高める授業の充実を図ることが必要である。
- 授業規律を確立させるとともに、個に応じた指導が実践できるよう、職員がチームとして支援する体制を確固たるものとする必要がある。
- 多様な進路希望に対応し、学習の定着を図るため選択科目を配置しているが、授業外の学習活動でも、補完する必要がある。
- 防災マニュアルや避難訓練の充実を図ったが、地域との連携による防災への取り組みや校内組織の再編成が課題である。

5 中期目標と主な方策

	視点	中期目標	目標達成に向けた主な方策
1	幅広い学習ニーズに対応する多様で柔軟な教育の展開 ＜教育課程＞	基本的な能力を高める学習を提供するため、教育課程の工夫を行い、基礎学力の定着を図る。情報、芸術等の科目で生徒の創造力を高め、自ら成果を感じられる授業の充実を図り、特色ある学校づくりを進める。	①基本的な能力を高める教育課程を編成する。(1年目) ②創造力を高める授業を展開するとともに成果発表の場を設けることで生徒の意欲を高める。(1～3年目) ③検定試験の受験の推進や外部との連携により情報教育の充実を図る。(1～3年目)
2	生徒一人ひとりに応じたきめ細かな教育支援 ＜生徒指導・支援＞	規範意識を身につけさせるための指導を徹底することと並行して、多様な生徒に対応するための相談・支援体制の更なる充実を図り、安心して学校生活を送ることのできる学校づくりを進める。	①個別生徒への規律指導を保護者との連携の中で充実を図る。(1～3年目) ②支援教育の体制を各担任が十分に活用する体制を整える。(1年目) ③登下校時の交通安全指導を通じてマナーの向上を図る。(1～3年目)
3	確かな学力の向上 ＜学習指導・授業改善＞	生徒の基本的な能力を向上させるため、教員の指示を的確に受け止める能力を高めるとともに、物を作り上げていくための創造力を高める取り組みを充実させる。	①授業評価を踏まえ、授業の工夫改善を計画的に進める。(1～3年目) ②全ての教科で生徒の主体的な活動を中心とした学習を行うことで、創造力を高める授業を実施する。(1～3年目) ③放課後や長期休業中に発展的な内容の講座を展開し、学力の向上を図る。(1～3年目)
4	社会生活実践力の育成 ＜キャリア教育＞	入学から卒業までのキャリア教育の体系化を図り、生徒を支援するとともに地域社会の一員として社会人としてのマナーの向上を図る。	①キャリア教育実践プログラムを改善し、充実させる。(1～2年目) ②シチズンシップ教育を充実させる。(1～3年目) ③キャリアカウンセリングについての校内体制を整える。(1年目)
5	地域との協働・連携による開かれた学校づくり ＜地域等連携＞	海岸清掃等のボランティア活動や地域の行事等での協働・連携を通じて、地域住民の学校への理解を深める。本校独自で行っている市民講座等を通じて、地域とともにある学校づくりを進める。	①保護者や地域住民等と協働、連携した教育活動を展開する。(1～3年目) ②施設開放、市民講座等を推進する。(1～3年目)
6	信頼に根ざした学校づくりの推進 ＜学校運営・学校管理＞	(1)不祥事の防止を徹底するとともに、事故に際しての適切な対応が行えるよう、教職員の実践力を向上させる。 (2)生徒の防災意識を高め、安全対策を一層強化するとともに、地域と連携した災害時の体制整備を進める。	(1)OJTを計画的組織的に展開する。(1～3年目) (2)①防災マニュアルを改善するとともに、地域と連携した防災訓練を定期的に行う。(1～3年目) ②教育活動の全体を通じて防災教育を一層充実させる。(1～3年目)

